1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2014 年 3 月 28 日発行 SSKP 増刊通巻 5678 号

# ＳＳＫＰ　はれのちくもり

## 棕 櫚 亭 通 信　第 66 号

## はじめに

**組織継承が本格的にスタートしました。**

**～でもやはり「明るく、元気に、美しく」～**

**社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会　常務理事　小林　由美子**

東北地方にまで桜の便りが届き、日本全国が春の装いとなりました。4 月の桜、5 月の新緑と、季節はこれからさらに生命力溢れる季節へと向かっていきます。

その様な中、棕櫚亭はというと本格化した組織継承の真っ最中。この４月からは現場統括（常務理事）を小林が、財務統括（統括会計責任者）を高橋が担う事となり次の組織作りが始まりました。この２～３年は棕櫚亭にとって、「継続する組織」として大切な時期を迎えると考えています。では「その様な時期をどう過ごすか？」という事ですが、まず第一に私たち次期経営陣が、さらに成長していく事が急務だと考えています。「組織」というものは、経営を担っている人間以上のものにはなりません。ですから今年度は、企業で人事部長を長年勤められてきた方をアドバイザーに迎え、組織経営についてのノウハウを教えて頂くことになりました。その中で、具体的にキャリアパスの見直しなどにも取り組み、経営していく者として力をつけていきたいと思っています。さらに今年度初めには研修体系の見直しも行いました。そこで新人職員、中堅職員と、それぞれが今より一つ上を目指す事が出来る仕組みも作り始めたところです。しかし取り組み始めて１ヶ月、目指す山はやはり高く、時々その高さを見上げ「自分たちはそこに行けるのだろうか？」と思うこともしばしばです。でも「組織継承」を言葉だけで終わらせない事、それが私の大きな責任だと思っています。この進捗は、また通信を使ってお伝えできればと思っています。

一方、そんな棕櫚亭を取り囲む外部状況ですが、障害者総合支援法の 3 年後の見直しや、H30 精神障害者の雇用率算入等、こちらも大きな転換期を迎えようとしています。H18 年に障害者自立支援法が施行されて以来、福祉は常に転換の時にさらされています。

この目まぐるしい状況は常に「あなた達はどのように考えるのか？」「そして、どこに向っていくのか？」を矢継ぎ早に問いかけてきます。そこに自分達なりのストーリーを作り、具体的に法人の事業展開を考えていく事は本当に難しいことです。見方によっては制度が変わり、国主導から法人が主体を持って、方向性を決めていくことが出来る自由な時代となりました。しかしこれは一方で、どこにも正解がなく自分達で解を出していかなければならない厳しい時代でもあります。そのような中、私たちもなかなか解が見つからず暗中模索の毎

日です。しかし、そこは棕櫚亭らしく議論を重ね、少しずつ自分たちなりの事業展開も見え始めたところです。

具体的には、今年度からピアスを多機能型事業所とし、就労移行事業だけではなく自立訓練（生活訓練）事業も始めました。これは「就労したい」という利用者層の広がりに対応し、本格的な就労トレーニングの前に生活リズムを整える事や、対人関係の練習が必要な方へのサービスとして始めたものです。確かに混沌とした外部状況ですが、この様に一つピースを置くと次のピースが見えて来たりするもの、まずは就労系のサービスから展開を初め、徐々に生活系のサービス展開へと議論を進めていけたらと思っています。

常務理事になってまだ１ヶ月、戸惑いの毎日ですがもちろんうれしい事もあります。それは今年度、棕櫚亭では４名の新人職員と、２名の非常勤職員が常勤に登用され、私たちと一緒に働く事になった事です。これは３０数名の小さな法人にとっては大きな事です。そこで今年度の新人研修は、天野理事長に２日間に渡りじっくりと「棕櫚亭の歴史」を語ってもらう機会を持ちました。それは本当に贅沢な時間だったのですが、その語られた言葉を通し、改めて創設世代の「熱い思いと行動力」、「安定をよしとしない変化し続けるエネルギー」に触れた思いがします。そして何より素晴らしかった事は、それが新人職員にもきちんと伝わり、皆さんそれぞれが自分たちも含め、創設世代からバトンを渡されているのだと共有できた事です。そのような機会をもてた事は本当によかったと思っています。

今年で棕櫚亭は活動開始から２７年目。「組織継承」「事業展開」と様々な課題が待ち構えています。そして、それを乗り越えるために棕櫚亭にとっても成長の季節。忙しい日常業務を抱えながら、どの職員も今より一回り大きくならなければと日々を必死に過ごしています。でもそんな時だからこそ、創設世代が棕櫚亭Ｉを開所したときにか掲げたテーマ「明るく元気に美しく」をもう一度思い出しながら、この大切な時を乗り越えていきたいと思っています。

## ピアス 高齢者配食サービス事業につきまして

ピアスが弁当宅配事業を開始して 17 年目。今ではたくさんのご注文をいただいており、『お弁当ピアス』の地域での活動を知っていただくことができました。そんな時、お弁当ピアスのお得意様でもある市役所の方から、「高齢者の方への配食サービスをしてみませんか？」とのお誘いをいただきました。長年お世話になっている国立市へ貢献できること、また、障がいを持った方がトレーニングを通して、高齢者の方へサービスをするということは、お互いにとって意味のあることだと考え、事業を始めることにしました。

そして高齢者への配食サービスを始めて早くも 1 年が過ぎました。現在 15 名のお客様からご注文をいただき、お宅へ配達しています。電子レンジ対応かつ、食欲をそそるデザインの弁当箱を導入し、手作りの箸袋を

付けて、優しい味付けながらもボリューム満点の日替わり弁当をお届けしています。お客様からは「いつも美味しい」「とても助かっている」という温かいお言葉をいただいています。

利用者の方にとっては、今まで提供できていなかった 6 時間トレーニングを提供することができ、近年増加している長時間勤務に向けての実績と、自信をつけていただくことができるようになりました。また、高齢者のお宅へ宅配員として配達へいくことで、より責任とやりがいをもってトレーニングに取り組むことができているように思います。さらに、自分の就職のためだけではなく、困っている方の役に立ちたいという思いで取り組むことで、施設の中だけでは感じることのできない、「社会の一員として働くこと」を実感として得られる、とてもいい機会だと感じています。

このような思いを胸に、利用者の方と職員とで力を合わせ、ピアスの愛情いっぱいの手作り弁当を今日もお届けしています！

**（ピアス 厨房担当　本田）**

# 新人職員のご紹介

２０１４年４月より、棕櫚亭に新しい職員が４名入職しました。また、非常勤職員２名が常勤職員となりました。心機一転となる新鮮な顔ぶれを、こちらでご紹介させていただきます。

## 露崎潤子

オープナーに配属されました、露崎潤子です。前職はハローワーク新宿の専門援助部門で、障がいのある求職者に職業相談や求人紹介をしていました。

ストレス解消は料理と掃除です。食材をザクザク切ったり、ガスコンロをピカピカに磨いたりするとスッキリします。“できるか、できないか”よりも、“やるか、やらないか”が重要だ！をモットーに、新しい環境で頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 長野志保

はじめまして。４月から棕櫚亭の職員になりました、長野志保と申します。

ピアスに配属で、現在もっぱら厨房にて勉強中です。趣味はおいしいごはんを食べること。

特技もおいしいごはんを食べること。食べることが大好きで、生きがいとなっています。前職では、アウトリーチによる地域生活支援を行っていました。今後、みなさんのリカバリー実現へ、少しでもお役に立てたら幸いです。よろしくお願いいたします。

## 浅野博

はじめまして。4 月から棕櫚亭第Ⅰに配属になりました、浅野 博です。
40 代後半という決して若くはない新人です。
前職は 20 年以上、学校法人で総務・人事関係の仕事に携わってきました。棕櫚亭で働きたいと思った最大の理由は自分の住んでいる国立市にあることです。せっかく働くのであれば皆さんの顔が近くに見れて同じ風景を見ていられることとはとても素敵なことだと思います。同じ街にいますので見かけた時はぜひお声掛けください。

## 下村仁人

初めまして、下村仁人と申します。私はこれまで特別養護老人ホームにてケアワーカーとしてお年寄りの方への介護に従事していました。かねてより、精神保健の分野で働きたいという希望を持っていました。今回、多摩棕櫚亭協会で働かせて頂くことになり大変嬉しく思っています。これからメンバー皆さんに信頼して頂けるワーカーになることができるように努力していきますので、どうぞよろしくお願いします。

## 増田静枝

4 月から常勤となりました、増田静枝です。非常勤として 4 年間、主に厨房で働いてまいりました。棕櫚亭に入職してからずっとトゥリニテで勤務していて、トレーニングにきているメンバーさんと一緒に、人気店「トゥリニテ」を切り盛りしています。
これからは、料理もできる、歌って叩ける！？（ドラムです）みなさんから親しまれる支援者になっていきたいと思っています。あまり新しくはない新人ですが、日々周りの方々から学びながら頑張っていくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 野口梓

ピアススタッフの野口 梓です。私は 2012 年からピアスで非常勤スタッフをしており、今年の 4 月から常勤で働くこととなりました。
2 年前、地域で暮らす方々の支援をしたいと思い棕櫚亭に入職しました。2 年間、じっくりピアスで下積みをし、周りの利用者さん・スタッフからいろいろなことを学ばせてもらい、とてもいい期間だったと思います。これから、この 2 年間で学んだこと、感じたことを活かしながら頑張っていこうと思います。ちなみに棕櫚亭に入ってから、山登りと、ベースをかじり始めました。こちらもまだまだ新人ですが続けていきたいと思います。

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2014 年 3 月 28 日発行 SSKP 増刊通巻 5678 号

# 棕櫚亭からのお知らせ

## ■平成 26 年度賛助会費お振込み用紙同封のお知らせ

賛助会員の皆様には、いつもご支援賜りまして本当にありがとうございます。今月分のはれのちくもりにて、**平成 26 年度賛助会お振込み用紙**を同封いたしました。個人会員様 2000 円、団体会員様 5000 円にて、引き続き変わらぬご支援を頂けましたら幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

## ■棕櫚亭 5 月・6 月予定

5 月 25 日　　25 年度決算理事会

6 月 27・28 日　全国就労移行支援事業所連絡協議会　北海道タウンミーティング

## ■棕櫚亭Ｉ絵画展のお知らせ

毎年恒例の、棕櫚亭Ｉの絵画展が今年も開催されます。

個性あふれる利用者さんたちの力作に、今年もご期待ください！

開催期間：**6 月 15 日（月）～7 月末　（予定）**

開催場所：**レストラン トゥリニテ**　（〒190-0022 立川市錦町 1-14-16 ）

TEL 042-528-3438　日替わりランチ 680 円　単品ドリンク 190 円

【編集】国立市富士見台 1－17－4 ピアス内
はれのちくもり編集委員会　Tel　042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073　世田谷区砧 6－26－21
Tel　03-3416-1698
【定価】100 円